

～第3種踏切において発生した、列車と歩行者との衝突による死亡事故～

鉄道事業者名：東日本旅客鉄道株式会社

事故種類：踏切障害事故

発生日時：令和2年5月5日 10時05分ごろ

発生場所：宮城県東松島市

仙石線 東矢本駅構内（単線）

第1下浦踏切道（第3種踏切道：遮断機なし、警報機あり）

## <概要>

東日本旅客鉄道株式会社の仙台駅発石巻駅行きの下り特別快速第5527D列車の運転士は、令和2年5月5日（火）、矢本駅～東矢本駅間を速度約90km/hで走行中、第1下浦踏切道の約20m手前で、進行方向左側から同踏切道に進入してくる歩行者を認め、直ちに気笛を吹鳴するとともに非常ブレーキを使用したが、列車は同歩行者と衝突した。

この事故により、同歩行者が死亡した。

## <事故現場周辺図>



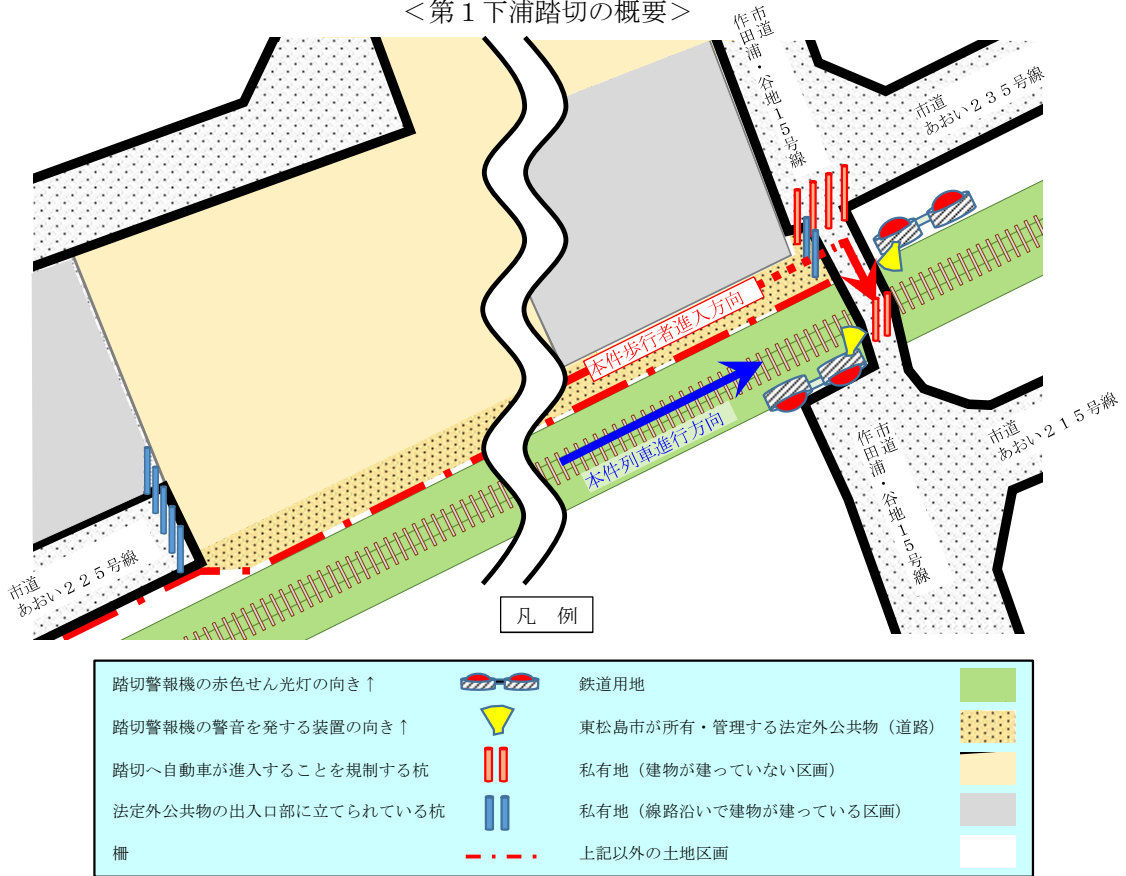
＜本件歩行者進入側から見た本件踏切の状況＞



＜本件踏切付近（本件歩行者進入側）からの見通し状況＞



＜第1下浦踏切の概要＞



※この図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）を使用し、一部加工して作成した。

＜原因＞

本事故は、踏切警報機があって、踏切遮断機が設けられていない第3種踏切道である第1下浦踏切道に列車が接近し、踏切警報機が動作している状況において、歩行者が同踏切道に進入したために発生したと考えられる。

同歩行者が同踏切道に進入した理由については、同踏切の鳴動音が聞こえなかった可能性及び、踏切警報機の赤色せん光灯を見落としていた可能性が考えられるが、同歩行者が死亡しているため、明らかにすることはできなかった。

詳細は、運輸安全委員会ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/jtsb>) より、[鉄道事故調査報告書](#)をご覧ください。